

会 員 各 位	「ステンレス鋼線をはじめとするばね材料に関する勉強会」参加者募集について	研 第 30-0607
		2018 年 6 月 7 日
		日 本 ば ね 学 会

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、当学会に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来年度(2018 年度)発足する標記勉強会の参加者を募集いたしますので、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的

日本ばね学会では 2016 年より「線ばねの精度向上に影響する因子の勉強会」を計 5 回開催し、線材の横弾性係数と歪取り焼鈍前後の形状変化の実測および諸先輩との議論を通じて、線ばねの精度に影響する因子について勉強をしていただきました。参加者が線材の横弾性係数やコイルばねの歪取り焼鈍前後の形状変化の実測をするなど好評でした。今回はアンケートで要望の多かった疲労などを取り上げ、前回深堀出来なかったステンレスを中心にばね材料に関して勉強することにいたしました。また参加検討の便を考慮して事前に 1 回ごとのテーマを取り上げましたので是非ご検討下さい。(テーマは状況によって変更の可能性あります)

2. 勉強会構成と予定期間

主査：林 博昭 鈴木住電ステンレス株式会社

幹事：山本 進 名誉会員

予定期間：2018 年 9 月～2020 年 3 月

第 1 回 (2018 年 9 月予定) ステンレス鋼線の疲労 その 1、低温焼鈍材料の評価計画と担当

第 2 回 (2018 年 12 月予定) ステンレス鋼線の疲労 その 2、低温焼鈍材料の中間報告

第 3 回 (2019 年 4 月予定) 低温焼鈍材料をコイルリングした場合の形状変化のまとめ

第 4 回 (2019 年 11 月予定) G 及び歪取焼鈍前後の形状ばらつき その 1

第 5 回 (2020 年 3 月予定) G 及び歪取焼鈍前後の形状ばらつき その 2

3. 参加費 : 無料

4. 申し込み締切日 : 2018 年 8 月 20 日(月)

5. 申し込み方法 : 下記の申込書にご記入の上、事務局宛に FAX 願います。

6. 申し込み先 : 〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町 12 MH-KIYA ビル 3F  
日本ばね学会 (TEL: 03-3251-5235、FAX: 03-3251-5258)

日本ばね学会事務局 御中 (FAX: 03-3251-5258)		年 月 日
<b>ステンレス鋼線をはじめとするばね材料に関する勉強会 参加申込書</b>		
住 所	〒 _____	
勤 務 先		
所 属 名		
役 職 名		
ふりがな 氏 名		
T E L		
F A X		
E-Mail		

## 「ステンレス鋼線をはじめとするばね材料に関する勉強会」参加者募集について

新勉強会について内容を補足説明させていただきます。前回、ご要望が多かった疲労についても取り上げ1回ごとに完結するような構成といたしました。ご参考にしていただき是非ご検討いただきますようお願いいたします。

勉強会構成と予定期間（再掲）

予定期間：2018年9月～2020年3月

第1回（2018年9月予定）ステンレス鋼線の疲労 その1、低温焼鈍材料の評価計画と担当

第2回（2018年12月予定）ステンレス鋼線の疲労 その2、低温焼鈍材料の中間報告

第3回（2019年4月予定）低温焼鈍材料をコイリングした場合の形状変化のまとめ

第4回（2019年11月予定）G及び歪取焼鈍前後の形状ばらつき その1

第5回（2020年3月予定）G及び歪取焼鈍前後の形状ばらつき その2

補足説明

### 1. ステンレス鋼線の疲労強度の考え方（第1，2回）

ステンレス鋼線の疲労強度は他のばね用鋼線に比べて低いとされている。しかし、具体的な疲労限度データや設計指針も公にされていない。当勉強会では、なぜステンレス鋼線の疲労強度は他の鋼線より低いのか、海外を含めた疲労限度データと疲労強度の考え方並びにステンレス鋼線特有の疲労限度の設定の難しさについて解説する。

### 2. ステンレス鋼線の低温焼鈍による寸法変化について（第1～3回）

また、ステンレス鋼線においては、ばね成形後の低温焼鈍による寸法変化が他のばね用鋼線と異なる挙動を示すことが知られている、この原因を探るためにステンレス鋼線に低温焼鈍を加えて材料をコイリングして、その寸法変化が通常の方法とどう違うか調べ、寸法変化の挙動が異なる原因について考察する。

### 3. ステンレス鋼線の低温焼鈍におけるバラツキ（第4回）

ステンレス鋼線は低温焼鈍においてその寸法変化の方向だけでなく、寸法バラツキも大きいと言われている、その理由について考察する。

### 4. 横弾性係数Gについて（第5回）

ステンレス鋼線の横弾性係数が他のばね用鋼線より低くなっているが、諸住先生の教科書と神鋼鋼線の山岡さんの論文などを含め、その理由について考察する。

以上